

## 一般シンポジウム S46

### ミトコンドリアの障害・品質管理研究の最前線

### Cutting Edge of Research on the Mitochondrial Damage and Quality Control

新谷 紀人<sup>1</sup>, 岡本 浩二<sup>2</sup>

<sup>1</sup>阪大院薬, <sup>2</sup>阪大院生命機能

ミトコンドリアは細胞のエネルギー産生を担う重要な細胞小器官であるが、近年、ミトコンドリアの分裂・融合や機能制御に関わる多数の因子が同定されたことを契機として、その動態制御を通じたミトコンドリア・細胞単位での機能/品質管理に関する研究や、ミトコンドリアを中心とした新たな細胞障害カスケードに関する研究など、ミトコンドリアの新たな機能的役割に関する研究が飛躍的に進展している。本シンポジウムでは、同研究領域でその分子機構研究・創薬研究を精力的に推進する 40 代以下の若手研究者をシンポジストとして、加速的かつ多彩な研究展開をみせるミトコンドリアの障害・品質管理研究に関する最先端の知見を紹介し、ミトコンドリアを中核した生理病態研究・創薬研究の展望を深め、新たな研究推進の契機としたい。なお本シンポジウムの一部は、日本学術振興会(JSPS)、頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム（課題番号 S2603）による協力で開催される。